

第3回/2008年 次世代ポリオレフィン総合研究会発表会プログラム

日時: 2008年7月31日(木), 8月1日(金)

場所: キャンパスイノベーションセンター(東京JR田町駅の東側すぐ)

7月31日

	発表者	所属	講演題目
13:00-13:40	河村 徹志	トタルペトロケミカルジャパン	原油・資源問題に関して
13:40-14:10	野村 零広	奈良先端大	高活性を発現する高性能チタン錯体触媒の配位子設計と新規ポリマーの創製
14:10-14:30	永 直文	芝浦工大	遷移金属触媒によるオレフィン系ポリマーのTailored合成と特性解析
14:30-14:40	休憩		
14:40-15:10	黒田 真一	群馬大	ポリオレフィンに及ぼす大気圧低温プラズマジェットの影響
15:10-15:40	小柳津 英知	富山大	原油価格上昇に伴う素材間競争の展望
15:40-16:10	館野 均	三井・デュポン ポリケミカル	高圧法によるエチレンの共重合
16:10-16:20	休憩		
16:20-16:40	堀田 篤	慶応大	ポリプロピレンと溶媒: 結晶性と力学物性
16:40-17:00	山口 政之	北陸先端大	結晶核剤添加系ポリプロピレンのレオロジー特性と光学的性質
17:00-17:30	(未定)	日本製鋼所	ポリオレフィン分野における脱気技術の動向
17:30-17:50	新田 晃平	金沢大	PEの延伸破壊特性のレオロジー

18:15-20:15 懇親会 (周之家 田町店 <http://r.gnavi.co.jp/g571511/>、田町駅西側)

8月1日

	発表者	所属	講演題目
9:00-9:20	齋藤 雅由	東邦チタニウム	強磁場固体NMRによるチーグラ-ナッタ触媒の構造解析
9:20-9:50	佐野 博成	三菱化学科技研センター	ポリオレフィンの顕微鏡解析技術
9:50-10:20	五十嵐 敏郎	コンサルタント	回転成形用PEの過去、現在、未来
10:20-10:40	中谷 久之	北見工大	ポリプロピレン系複合材料の不均一な劣化挙動
10:40-10:50	休憩		
10:50-11:20	金子 勇雄	前日本プラスチック工業連盟	ポリオレフィンのリサイクルの現状と課題
11:20-11:50	小林 俊哉	北陸先端大	デルファイ技術予測調査結果に見る次世代石油科学技術の変遷
11:50-12:20	篠崎 香織	東京富士大	なぜ石油化学製品技術の実用化は妨げられるのか
12:20-13:20	昼食		
13:20-13:50	志賀 昭信	ルモックス技研	MgCl ₂ 担持触媒活性種のPIO解析 - TiCl ₃ 触媒活性種との比較
13:50-14:10	谷池 俊明	北陸先端大	Ziegler-Natta触媒の重合特性へのドナーの影響に関する密度汎関数計算
14:10-14:30	萩原 英昭	産総研	プロピレンと極性基含有モノマーの共重合による機能化PPの合成とその性質
14:30-14:50	Hoang The Ban	産総研	高耐熱低複屈折環状オレフィン共重合体の開発
14:50-15:00	休憩		
15:00-15:30	木全 修一	住友化学	分子論的アプローチによるポリプロピレンの配向結晶化機構の解析
15:30-16:00	川原 信夫	三井化学	次世代ポリオレフィンの動向 - Specialtyへの挑戦
16:00-16:30	豊田 昭徳	東京農工大	高分子反応による高機能性ポリオレフィンの合成

以上にて閉会